2025/06/12（木）

獣医療関係者や飼い主向け SFTS 啓発資料

１　公益社団法人　東京都獣医師会

（１）「SFTS 疑いネコ診療簡易マニュアル」（SFTS をどのように疑うのか、疑った場合にはどの段階で PPE を装着するのかなどを解説）
https://www.tvma.or.jp/public/items/2021.3.25%28SFTS%29.pdf

（２）「SFTS 疑いネコ診療マニュアル」（動画による診察一連の流れ解説、PPE の脱衣方法の詳細も解説）
https://www.youtube.com/watch?v=1Pf_OGEeH7o

２　公益社団法人　静岡県都獣医師会

「SFTS からあなたとペットを守るために（重症熱性血小板減少症候群）」
https://www.shizujyu.com/files/libs/2253/202501210935292521.pdf

３　厚生労働省

（１）獣医療関係者感染防護対策周知ポスター
　　添付のとおり

（２）「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）　診療の手引き 2024 年版」
https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001229138.pdf

（３）「国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について」（国立感染症研究所ＨＰ感染症情報提供サイト）
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/240801_NIID_SFTS.pdf

（４）「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するＱ＆Ａ」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

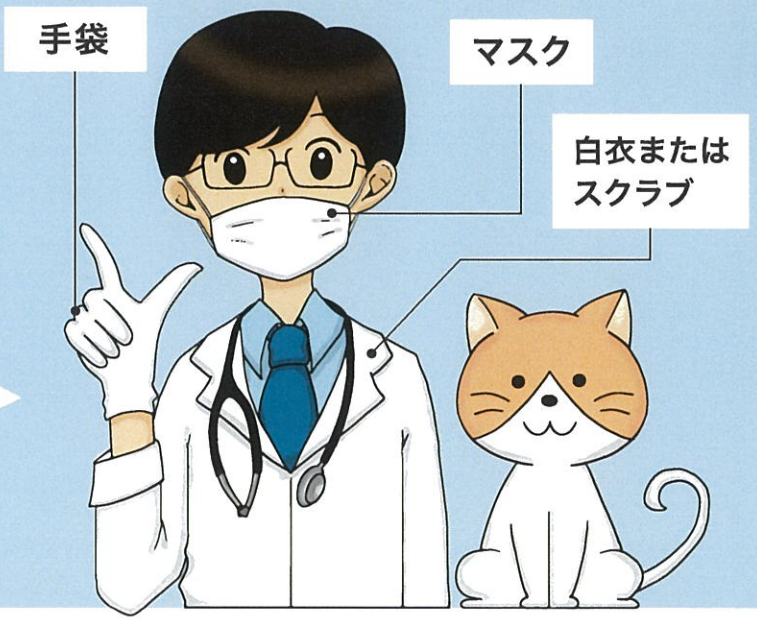
（５）「病原体検出マニュアル（動物由来検体）：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）　」（国立感染症研究所ＨP 感染症情報提供サイト）
https://id-info.jihs.go.jp/relevant/manual/010/SFTS20240502.pdf

獣医療関係者の感染防御対策にご理解ください
(手袋・マスク等)

動物から人に感染する病気があります。 獣医療関係者は動物の処置を行う時に、このような病気から身を守るために、個人防護具(PPE)を着用する必要があります。

動物から人に感染する病気の例

- **重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**
  ウイルスを保有しているダニに咬まれると感染します。また、人はSFTSに感染した犬や猫からも体液等を介して感染することが報告されています。
- **パスツレラ症、猫ひっかき病、カプノサイトファーガ感染症、エキノコックス症、ブルセラ症等**



個人防護具 (Personal Protective Equipment,PPE) とは

- 動物の血液、体液、分泌物、排泄物に感染性物質が存在することがあります。獣医療関係者の皮膚を守り、衣類の汚れを防ぐために、白衣やガウン、エプロン等を着用します。
- 血液や体液、粘膜、傷のある皮膚等に触れる際は、手袋を着用します。
- 血液等のしぶきが発生する可能性がある処置をする場合は、目、鼻、口の粘膜を守るために、マスク、ゴーグル、フェイスシールドを着用します。

動物由来感染症の詳しい情報については、厚生労働省ホームページをご覧ください。

動物由来感染症 厚生労働省 検索

厚生労働省
健康局結核感染症課

いのちみつめる。いのち育む。
公益社団法人 日本獣医師会